

2018年6月11日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL18-27

本資料は、米国イーライリリーが2018年5月14日(米国現地時間)に発表したニュースリリースを日本語に翻訳したもので、内容および解釈については原本である英語が優先されます。なお、適応症と安全性重要情報など一部情報は米国のもので、日本の情報ではありません。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。

リリーが、AurKa Phama を買収 本買収により、複数の癌種の早期段階のオンコロジーパイプラインを強化

インディアナポリス、[2018年5月14日]-イーライリリー・アンド・カンパニー(以下リリー)は、リリーが当初発見したオーロラキナーゼA阻害剤であるオンコロジー分野の化合物AK-01を開発するためにTVM Capital Life Science が設立した会社であるAurKa Pharma社の買収に合意したことを発表しました。

オーロラキナーゼは染色体分離をコントロールすることで細胞分裂中の重要な役割を果たすと考えられています。

分裂中の欠陥は、遺伝的不安定性、つまり腫瘍の形成と高い関連性のある状態を引き起こすことができます。オーロラA、オーロラB、そしてオーロラCからなるオーロラキナーゼは、遺伝子の安定性のために必要とされる重要な有糸分裂レギュレーターで、頻繁に癌性腫瘍で過剰発現されます。AurKa Pharmaの開発製品であるAK-01は、第I相試験で臨床的ベネフィットの可能性と共にオーロラAに高い選択性を示しました。今後の試験では、毒性リスクを管理可能なレベルまで減らすと同時にAK-1の選択的プロファイルが効果を改善することができるかを模索していきます。

2016年に臨床パイプラインの優先順位をレビューした後、リリーは、TVM Capital Life Scienceに本化合物を売却しました、その際にTVM Life Science Ventures VIIファンドの一部としてAurKaが設立されました。このファンドは新規の投資モデルであり、効率的に資本を活用し早期ステージの化合物を開発することを目指します。その革新的な戦略の一部として、リリーは早期段階で機会を見出すためにベンチャーキャピタルファームと積極的に活動します。

“AurKa Pharmaの買収は、ライフサイエンスのリーディングベンチャーキャピタルファームとのパートナーリングを模索するという、リリーの外部イノベーション戦略をサポートします。この戦略によって、リリーは、アンメットメディカルニーズのある領域で有望なイノベーションを見分け、サポートし、そして有望なイノベーションにアクセスします。私たちは早期段階の試験を通じてTVMが創造した本化合物の価値を嬉しく思っています。そして将来、より多くの機会を創造することを楽しみにしています”とリリーの事業開発部門上級副社長であるDarren Carrollは述べました。

“リリー・オンコロジーは患者さんにとって重要な変化をもたらすことができる革新的な癌治療の発展に注力して参ります。AurKa Pharmaの買収により、細胞周期の活動を明確に標的とした有望なオンコロジー分野の化合物を得て、我々のパイプラインが広がります。AurKa Pharmaのこれまでの研究成果によって、どういったがんに効果があるのか、様々ながん患者さんにとって有益なのかといった新たなデータを活用することが可能になります。”とリリー・オンコロジーのグローバル開発・メディカル部門上級副社長Levi Garraway, M.D., Ph.D.は述べております。

“TVM Capital Life Scienceによってもたらされた、この素晴らしいヘルスケアのベンチャーキャピタルモデルを通じて、AurKaのような会社が設立され、それにより、より早くそして効率的に有望な化合物の臨床的概念実証（Proof-of-concept）がもたらされます。AurKaによる科学進歩がAK-01の開発に貢献することは喜ばしく、また、新しい薬としてがん患者さんにお届けできることを願っています。”とTVM Capital Life Scienceの業務執行役員であるLuc Marengere博士は述べました。

契約条件として、リリーは、AurKa Pharmaの全株を取得します。AurKa Pharmaの株主は、1億1千万ドルの前払い金を受けとります。またAurKa Pharmaの株主は、米国及び他国でAK-01が承認を得た時に承認達成マイルストーンとして、そして一定の売上げレベルに達した時に売上達成マイルストーンとして、4億65百万ドルを受け取る権利を得ます。

今回の取引は、慣習的な完了条件を満たした場合、GAAP（一般に公正妥当と認められた会計原則）に従い、リリーの業績と財務予測に反映されます。リリーの2018年度の非GAAPベースの一株あたり利益予想には変更は生じません。

Bairdが、本取引でAurKa Pharmaに財務面で助言しています。

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 www.lilly.comおよび<http://newsroom.lilly.com/social-channels>。

TVM Capital Life Scienceについて

TVM Capital Life Scienceは、ベンチャーキャピタルファンドのための独立した投資アドバイザーとファンドマネージャーで構成されるグループの一つで、革新的なバイオ技術、製薬、そして医療技術の会社に投資しており、ミュンヘンとモントリオールにチームが存在しています。1984年から、TVM Capital Life Scienceは欧州、カナダ、そして米国で140以上のライフサイエンスの会社に投資をし、50以上の投資家から得た11億USドルを超える金額を管理しています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>

Lilly Cautionary Statement Regarding Forward-Looking Statements

This press release contains forward-looking statements (as that term is defined in the Private Securities Litigation Reform Act of 1995) about the benefits of Lilly's acquisition of AurKa Pharma, Inc. It reflects Lilly's current beliefs; however, as with any such undertaking, there are substantial risks and uncertainties in implementing the transaction and in drug development. Among other things, there can be no guarantee that Lilly will realize the expected benefits of the transaction, that the molecules will be approved on the anticipated timeline or at all, or that the potential products will be commercially successful. For further discussion of these and other risks and uncertainties, see Lilly's most recent Form 10-K and Form 10-Q filings with the United States Securities and Exchange Commission. Except as required by law, Lilly undertakes no duty to update forward-looking statements to reflect events after the date of this release